

2009 年度 修士論文要旨

発話意図判定における文型・韻律・音色の相補的效果

関西学院大学大学院理工学研究科
情報科学専攻 川端研究室 益永 祐吾

韻律・音色情報に基づいて、発話意図判定における新しい文型の分類を提案する。本研究では、文型を大きく「依頼文」、「質問文」、「感嘆文」の3つに分類する。また、それぞれの文型を細分類する。例えば、依頼文はさらに文型の内容が意味する意図に基づいて「依頼文型」と「命令文型」に細分類される。被験者 4 名に対し、指定する文型の文書に指定する意図を込めて、自由な韻律・音色で発声する実験を行ったところ、韻律的特徴と音色的特徴は相補的に意図の伝達に関わっていることが分かった。また、話者の肯定的／否定的姿勢を伝えるためには、適切な文型を選ぶことが必要であることが確認された。

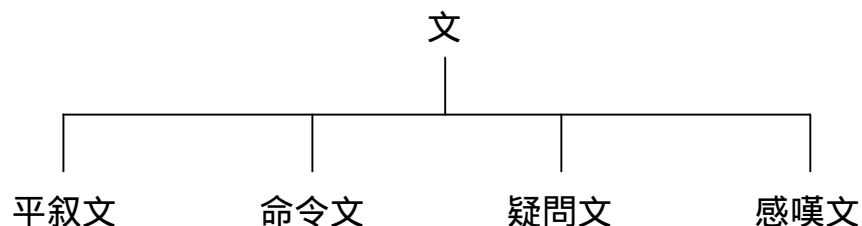


図 伝統的な文型分類

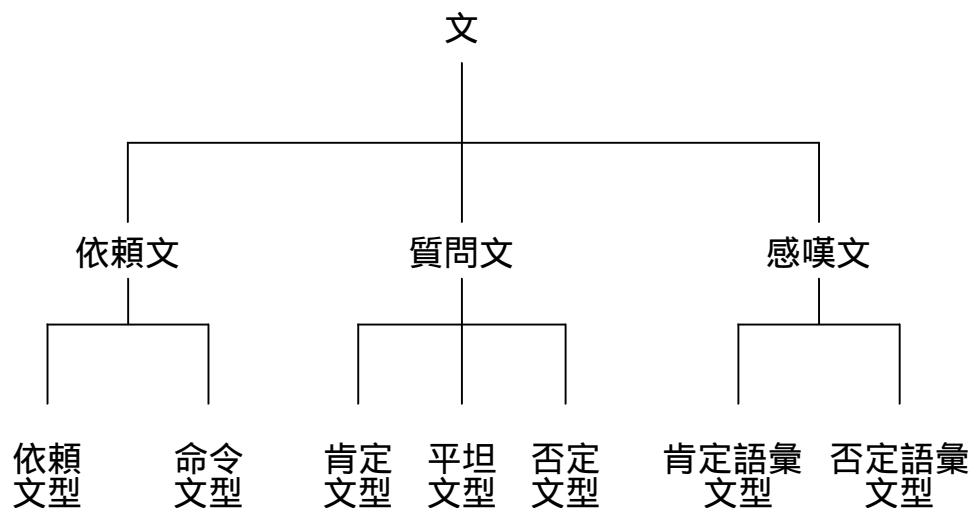


図 発話意図判定を考慮した文型分類